

第 26 回 再生普及行動計画ワーキンググループ

日時：平成 26 年 4 月 23 日(水) 16:00～18:00

場所：釧路地方合同庁舎 4階第三会議室

----- 議 事 次 第 -----

1. 開 会
2. 議 事
 - 1) 2013 年度再生普及行動計画 WG の取組み報告
 - 2) 「ワンダグリンド・プロジェクト 2013」の活動報告
 - 3) 「ワンダグリンド・プロジェクト 2014」の応募状況について
 - 4) 2014 年度再生普及行動計画 WG の活動予定(案)
 - 5) 再生普及行動計画の見直しについて
3. その他
4. 閉 会

----- 配布資料一覧 -----

当議事次第

再生普及行動計画ワーキンググループ名簿

第 24 回再生普及行動計画ワーキンググループ出席者名簿

- ・資料 1 2013 年度再生普及行動計画 WG 取組み報告
- ・資料 2-1 ワンダグリンド・プロジェクト 2013 活動報告
- ・資料 2-2 「ワンダグリンド・プロジェクト2013」具体的取組(一覧)
- ・資料 2-3 ワンダグリンド・プロジェクト 2013 報告書作成概要
- ・資料 3-1 「ワンダグリンド・プロジェクト 2014」活動予定
- ・資料 3-2 「ワンダグリンド・プロジェクト2014」 応募状況(一覧)
- ・資料 4 2014 年度再生普及行動計画WGの活動予定(案)
- ・資料 5-1 第 2 期再生普及行動計画の実施状況について
- ・資料 5-2 再生普及行動計画改定手順(案)
- ・資料 5-3 釧路湿原自然再生全体構想及び再生普及行動計画見直しのためのアンケート調査について(依頼)

釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会
再生普及行動計画ワーキンググループ名簿

<個人>

金子 正美 (酪農学園大学環境システム学部地域環境学科教授)
君塚 孝一 ((有)自然文化創舎オホーツク知床リサーチワークショップ)
清水 信彦
新庄 久志 (釧路国際ウェットランドセンター主任技術員・環境ファシリテーター)

<団体>

NPO 法人釧路湿原やちの会
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会
釧路市民活動センターわっと
釧路シャケの会
釧路武佐の森の会
こどもエコクラブくしろ

<再生普及小委員会 委員長>

高橋 忠一

<関係市町村>

釧路市 釧路町 標茶町 鶴居村 弟子屈町

<関係行政機関>

環境省釧路自然環境事務所
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境ふれあい推進センター
北海道釧路総合振興局
北海道教育庁釧路教育局

<ワーキンググループ事務局>

環境省 釧路自然環境事務所
公益財団法人北海道環境財団

第26回再生普及行動計画ワーキンググループ 出席者名簿

<個人> (出席者 50 音順)

氏 名	所 属
清水 信彦	
新庄 久志	釧路国際ウェットランドセンター主任技術員・環境ファシリテーター

<団体>

所 属	出席者氏名
釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	中嶋 忠雄
釧路シャケの会	小杉 和寛

<再生普及小委員会 委員長>

氏 名	所 属
高橋 忠一	(個人)

<関係行政機関>

機 関 名	出席者氏名
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	西山 理行 大林 圭司
国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 治水課	市川 嘉輝 大田 義博
林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター	重光 秀人 高見沢 敏男

<ワーキンググループ事務局>

機 関 名	出席者氏名
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	杉本 頼優 渡邊 雄児
財団法人北海道環境財団	久保田 学 安田 智子

2013 年度再生普及行動計画 WG 取組み報告

前回WG（2013年11月13日開催）以降、以下の取組みを実施した。

1 行動計画の進行管理、活動支援

■「ワンダグリンド・プロジェクト2013」参加者への活動支援

- ・メールニュースでの活動発信
- ・FMくしろへ出演案内
- ・イベント、パネル展等での展示や資料配布による紹介
- ・活動PRの場の提供

■「ワンダグリンド・プロジェクト2013」報告書作成

・2013年度に参加した53団体・個人80取組み（協議会含む、資料2-1参照）について活動報告書を作成中。今後、冊子に取りまとめて公表、配布予定

■「ワンダグリンド・プロジェクト2014」活動募集

チラシ・ポスターの配布など広報を実施し参加者の募集を行った。

ワンダグリンドプロジェクト
（応募用紙）

できる人ができることから、
釧路湿原とつながる活動を
ご応募ください。

■ 団体(個人)名
■ 取組み内容
■ 取組み時期・回数など
■ 団体について簡単な紹介をお願いします。
■ 電話番号、ご相談などございましたらご記入下さい。

ワンダグリンド・プロジェクトは3つの柱を軸に進めています。今回ご応募いただく活動がどれにあてはまるか、○をつけて下さい。（複数回答可）

1. 釧路湿原を知り、楽しみ、学ぼう！
2. 自然再生に参加し、行動しよう！
3. 地域と関わり、人をつなごう！

■ ご担当者
■ ご住所
■ TEL&FAX
■ E-Mail
■ URL

2014年度内の活動をご応募ください。（限定的活動もOK）
個人、団体、企業、行政、サークルなど、どんな形でもご応募できます。
活動は随時募集しています。ただし2014年3月12日までにご応募いただいた活動は、各新聞掲載やホームページなどを通じて広くPRいたします。※2014年5月中旬頃「ワンダグリンドプロジェクト2014」として公開いたします。
ご不明な場合は、お気軽にオフィスまでお問い合わせください。

（応募先・お問合せ先）
釧路湿原自然再生協議会
再生普及行動計画オフィス
住所：釧路市東2-2-101 釧路湿原再生生物圏センター内
TEL:0154-56-4646 FAX:0154-56-2267
MAIL:wanda@heco-spc.or.jp
URL:http://www.heco-spc.or.jp/kushiro/

ワンダグリンド 検索

http://www.heco-spc.or.jp/kushiro/

あなたと釧路湿原の
つきあい方を聞かせてください。

みんなの宝「釧路湿原」をキーワードにしたネットワークに
あなたも参加してみませんか？

登録団体募集！

自然の子どものために!!
ワンダグリンド
プロジェクト 2014参加者募集!!

「ワンダグリンド・プロジェクト」って？
「ワンダグリンド」とは、ワンダフルでオン・ワンで、グリーン(緑)な取組活動をみんなが思い思いにできるイメージでつくられた言葉です。どんな形でも釧路湿原とつながる活動ならばご応募できます。ぜひ釧路湿原とあなたを結び、活動をご応募ください！

「ワンダグリンド」に参加するとどんなイベント？
登録団体は「ワンダグリンド」の登録証が交付され、指定ロケジで写真撮影や採集、心斎橋駅前・釧路湿原特設ツアーにご招待、心斎橋駅前・メールニュース発信部、HPで情報発信PRするなど、活動を実施します。

新年度準備の期間、どんなでもOK!!
釧路湿原のあれこれ、イベント、お出かけ情報、取組支援発行中!!

「ワンダグリンド」に登録するとこんなイコト!

釧路湿原とあなたを結ぶ取組みを
「ワンダグリンドプロジェクト」に登録しよう!

ご応募・お問い合わせは
釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィスまで

TEL:0154-56-4646 FAX:0154-56-2267
MAIL:wanda@heco-spc.or.jp

URL:http://www.heco-spc.or.jp/kushiro/ ワンダグリンド 検索

※ポスター・イベント情報などを掲載して下さる店舗や施設、会社は「探訪のコーナー」にて募集しています。

■ フィールドワークショップの実施

第12回「厳寒のヨシ湿原を歩く～シラルトロエトロ川～」

日時：2014年2月5日（水）8：30～14：00

案内人：新庄久志 座長

参加者：21名

内容：シラルトロエトロ川上流部周辺のヨシ湿原散策。
雷別地区森林再生事業地の解説。



<アンケートより（抜粋）>

- ・川と植物、土砂とのつながりを実感出来た。ひとつひとつの解説が実物を前にする事でとても理解しやすかっただけでなく強く印象に残った。
- ・冬でなければ体験出来ない活動に感動した。
- ・個人では行けない場所に行くことが出来とっても楽しかった。
- ・見る事聞く事すべてが勉強になった。現地でお話を聞いた事がとても良かった。体験活動の重要性を改めて感じた。
- ・湿原環境の様子を新庄さんの解説付きで解り易く知る機会を得る事が出来大変わ為になった。
- ・美味しいコーヒータイムは最高の気分だった。
- ・新庄先生の抱負な知識と経験、人を魅了する語りには痛く関心致しました。
- ・多くの知識や経験がある方と触れ合えてとても有意義だった。
- ・ハンノキやヤチダモの植生などから湿原の様子や生き立ちがわかり自然が生きている事が良く解った。

2 情報発信・普及活動の拡充

2-1 情報発信・普及活動

■WEBサイトの運営

・ホームページ「みんなで進める！釧路湿原の自然再生」の更新を行い、行動計画に参加する団体の活動に関する情報や釧路湿原周辺で行われる行事に関する情報を随時発信した。

概ね月2回程度の更新を行った。(URL <http://heco-spc.or.jp/kushiro/>)

・達古武地区で実施されている湿原再生事業及び幌呂地区で実施されている湿原再生事業の概略を紹介するWEBページを作成し公開した。

[達古武地区] <http://heco-spc.or.jp/kushiro/plan/details/taccobuko/>

[幌呂地区] <http://heco-spc.or.jp/kushiro/plan/details/hororo/>

幌呂地区湿原再生実施計画

Home > 自然再生を進める仕組みと具体的な計画 > 自然再生の具体的な計画～実施計画 > 幌呂地区湿原再生実施計画

人の暮らしと隣合わせの湿原の変化を、幌呂から見つめる

■実施主体 ～だれがやっているのか～
幌呂地区の湿原再生については、釧路湿原自然再生協議会に属する北海道開発局釧路開発建設部(リンク:<http://www.ks.hkd.mlit.go.jp/>)が実施します。

■実施理由 ～なぜやるのか～

1970年代から同地区では湿原を農地として活用するために、幌呂川の切り替えや明渠排水路の整備などが行われました。これにより農業生産の向上が図られた一方で、冠水頻度の減少や地下水位の低下がおき、周辺の湿原の乾燥化による植生の変化がおこっているためです。

(1) ヨシガ湿原からハンノキ林への変容
(2) 牧草であるクサシロの分布
(3) 外来植物であるオオアワダチソウの増加

要因	幌呂川の切り替え排水路網の整備	課題	湿原面積の減少 湿原植生の変化
現象	冠水頻度の減少地下水位の低下		湿原景観の喪失

■実施目標 ～なにをめざしているのか～
未利用地の再湿原化とハンノキの成長抑制を行ない、湿原の再生を目指します。

A区域～未利用地の再湿原化
(湿原植生の再生、湿原面積の回復、湿原景観の復元)



達古武湖自然再生事業実施計画

Home > 自然再生を進める仕組みと具体的な計画 > 自然再生の具体的な計画～実施計画 > 達古武湖自然再生事業実施計画

達古武湖から「水と緑の大地」を取り戻す！

■実施主体 ～だれがやっているのか～
達古武湖の自然再生事業は、釧路湿原自然再生協議会の協議を経て、環境省釧路自然環境事務所が実施する。

■実施理由 ～なぜやるのか～
かつて達古武湖には多様な水生植物が生育しており、水生植物の宝庫であったが、周辺環境の変化により、湖の富栄養化がおこり、アオコの大発生やヒシの繁茂などにより、水生植物をはじめとする生物の多様性が損なわれている状況にあるため。



■実施目標 ～なにをめざしているのか～
達古武湖に流入するリンや窒素などの栄養塩類と、ヒシの繁茂による水生植物への影響を低減することにより、ネムコウホネやヒツジグサなどの多様な水草の生態環境を再生することを目指します。

現状

・ブログ「自然再生の今！」を運営した

■メールニュースの配信、掲示

電子メールによるニュースレター「ワンダグリーンダ☆ニュース」での情報発信を行った。釧路湿原周辺のイベント情報等を主なコンテンツとして概ね月2回の配信を行った。(配信先：292件)

また、電子メール受信者自身が施設等に張り出せるよう、メールニュースの内容をPDFファイルとして添付送信した。

■市町村広報誌、新聞等メディアへの情報提供

- ・毎月釧路湿原国立公園連絡協議会の協力により、関係市町村に情報を配信した。(掲載については各市町村の判断によっており、釧路市には情報があれば毎月掲載していただいた)
- ・その他イベントごとに報道機関に情報提供を行った。

■イベント出展による情報発信等

- ・2/1～2/28:「釧路湿原支援再生事業紹介パネル展」(主催:シルバーシティときわ台ヒルズ)



- ・2/1:「釧路湿原について学ぶ自然文化講座」(主催:シルバーシティときわ台ヒルズ)

講演 「湿原とわたしたちの暮らし」

講師 菊地 義勝 氏 (釧路国際ウェットランドセンター事務局長)

参加人数 67名



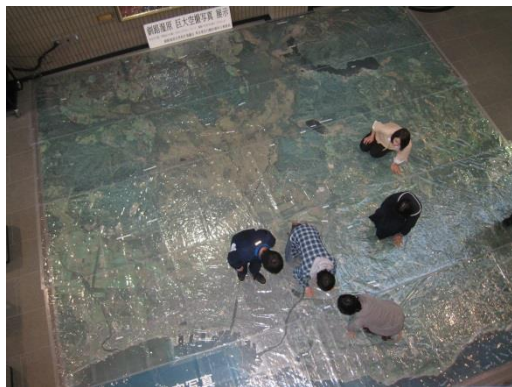
- ・1/19、3/15:「ペーパークラフトで湿原の生き物を作ろう」(主催:釧路町公民館)

講師 辻野 正 氏 (ワンダグリーンダプロジェクト)

参加人数 14名



- 3/17～3/31：「空からたんけん！釧路湿原：釧路湿原航空写真展示」（主催：釧路町公民館）



3 自然再生の参加の機会づくり

■釧路湿原自然再生講演会「水循環」

実施日時：2014年3月13日（木）

実施場所：釧路地方合同庁舎5階 共用第1会議室

対象：一般

講演タイトル：「釧路湿原の水の動きを探る」

講師：藤間 聡 氏（水循環小委員長）

主催：水循環小委員会（釧路開発建設部治水課）

ワンダグリンド・プロジェクト 2013 活動報告

■ 「ワンダグリンド・プロジェクト 2013」参加者への活動支援

以下の活動支援を実施した。

- ・ワンダグリンド・プロジェクト 2013 登録証の発行
- ・ワンダグリンド・プロジェクトロゴマークの配布
- ・メールニュースでの活動情報発信
- ・FMくしろへの出演案内
- ・各種イベント、パネル展等での展示、資料配布による紹介
- ・活動PRの場の提供（エコフェア、まなトピア、釧路町公民館講座、ラムサール+20）
- ・フィールドワークショップの開催（2回）
- ・特典カヌーツアーのご招待
- ・ワンダグリンド・プロジェクト参加団体交流座談会の実施
- ・「釧路湿原の自然再生に参加しよう！」イベントへの参加よびかけ
- ・報告書の作成、配布

■ 「ワンダグリンド・プロジェクト 2013」報告書作成

2013 年度に参加した 53 団体・個人 80 取組み（協議会含む・資料 2-1 参照）について、活動報告をとりまとめ、冊子として釧路湿原自然再生事業普及行動計画 2013 年度の具体的取組みとして活動状況の発信を予定している。

「ワンダグリダ・プロジェクト2013」 具体的取組（一覧）

※「★」今年度新規参加を表す

団体名	取組み概要	No
太平洋総合コンサルタント株式会社	標茶高校における体験型の環境教育を実施します	1
川口 秀人	湿原の動植物や風景の写真をカレンダーやポスターにして多くの人が集まる場所などに掲示します	2
釧路国際ウエットランドセンター	釧路川蛇行復元現場周辺の環境調査を、地域の人々と一緒に行います	3
	湿地・生物多様性に係わる途上国の行政官等を対象とした、湿地保全やワイズユースに関する研修を実施します	4
	ラムサール釧路会議開催20周年を記念するイベントを開催します	5
	ホームページ、ニュースレター等による釧路湿原の情報発信をします（英語・日本語）	6
沢田建設株式会社	釧路湿原近郊の清掃活動を実施します	7
西村 孝弘	釣りの自警活動の一環として釧路川流域で釣り場周辺で清掃活動を行います	8
釧路駐屯地曹友会	細岡展望台整備ボランティアをします	9
	カヌー教室を実施し釧路湿原を魅力を味わいます	10
タンチョウコミュニティ	タンチョウのえさづくりプロジェクトを実施します	11
市立釧路図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター	釧路湿原に関する情報提供及び、関連講座や展示を通じた湿原の紹介をします	12
辻野 正	ペーパークラフトで釧路湿原などの生き物を紹介します	13
(NPO) タンチョウ保護研究グループ	タンチョウの保護研究に関する教育普及活動を行います	14
釧路湿原国立公園連絡協議会	釧路湿原に関する情報提供を自然情報誌やガイドブック、ホームページなどで行います	15
	温根内ビジターセンターと塘路エコミュージアムセンターで自然ふれあい行事を実施します。また来訪者などに自然解説や情報提供を行います。	16
	釧路湿原こどもレンジャー活動を実施します	17
	釧路湿原国立公園クリーンデーを実施します	18
伊勢志郎	来訪者の釧路湿原国立公園来園記念に、折鶴を関連施設に提供します	19
釧路湿原MTBクラブ	マウンテンバイクで釧路湿原周辺の林道ツーリングを行います	20
環境省釧路自然環境事務所	自然再生事業を行っている達古武地区にて、市民体験調査会を行います	21
(NPO) 釧路湿原やちの会	広域農道クリーンウォークをします	22
(株) 日専連釧路	「日専連釧路フィッシャーマンズカード」利用額の一部を釧路湿原国立公園連絡協議会に寄付します	23
カヌープロ	カヌーを通じ自然の素晴らしさや釧路湿原の大切さをつたえます	24
ハートンツリー	地球と体にやさしい暮らしを提案します	25
林野庁北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター	「森林アクティビティ講座」の実施	26
	「雷別ドングリ倶楽部」の実施	27
	「お庭で苗木育成」の実施	28
こどもエコクラブくしろ	釧路湿原における特定外来生物の調査（セイヨウオオマルハナバチ・ウチダザリガニ等）防除を実施します	29
タクツバ（ペンネーム）	道東の自然や地名をアイヌ語で紹介します	30
★ 愛国幸恵町内会	町内会員宅に特定外来種のパンフレットを配布し、拡散の情報を提供します	31
環境コンサルタント株式会社	達古武湖面をカヌーで清掃します	32
	湿原流域で体験型環境教育を実施します	33
酪農学園大学 環境地球化学研究室	釧路湿原における温室効果気体の動態調査、水環境と温室効果気体の挙動調査	34
シルバシティときわ台ヒルズ	釧路湿原について学ぶ自然文化講座を実施します。	35
(財) 釧路市民文化振興財団 (釧路市生涯学習センター)	いきいき女性講座「キラコタン岬から釧路湿原を眺めてみよう」を開催します	36
	まなぼつとシニア講座「釧路湿原」～タンチョウと湿原の草花～を開催します	37
	ふるさと講座 湿原ほたる講座「釧路湿原の夜の隠れた風物詩を探ろう」を開催します	38
	釧路学教養講座「霧多布湿原を訪ねて」を開催します	39
	まなぼつと子ども探検隊「仮 森と遊ぼう 2013」を開催します	40

★	品田 忠	木の枝の作品造りや展示を通し湿原からの水の大切さを伝えます	41
★	(株)釧路マーシュ&リバー	釧路川カヌーツーリングや釧路湿原探索ガイドをすることで釧路湿原の魅力を全国、全世界の皆さんへ発信していきます	42
	イオン釧路店 チアーズクラブ	フィールドや学習会を通し釧路湿原を学びます	43
	釧路シャケの会	シャケの稚魚の里親募集と放流式を実施します	44
	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	クリーンウォークを実施します	45
		特定外来生物「ウチダザリガニ駆除調査」を実施します	46
		温根内木道定点解説を実施します	47
	釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会	第26回釧路湿原全国車いすマラソン大会を実施します	48
	釧路短期大学	湿原をとりまく地域食材を使用した、学生考案の「咲くさクッキー」を釧路全日空ホテルと連携して販売し、湿原自然再生に還元します（諸活動と収益の一部寄附）	49
	釧路湿原マラソン実行委員会	釧路湿原マラソンを通じて湿原のすばらしさを参加者の方に伝えます	50
	お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」を販売します	51
	くしろ自然再生解説員	釧路湿原の特徴や自然再生事業などについてボランティアで解説を実施します	52
	釧路湿原川レンジャー	釧路湿原の良質な河川環境づくりに貢献します	53
	(株)FMくしろ	放送を通じて湿原にまつわる四季折々の話題を発信します	54
	奈良 笹本由文	鶴居村私有林の自然林育成及び調査記録	55
	(NPO)北海道フィッシャーズ協会	釧路湿原の清掃活動を行います	56
	リンク・リング	野生生物へのエサやりの是非の説明をして、人と動物・自然のかかわりについて考える機会を持ってもらう	57
	北海道阿寒高等学校	「地域巡検」を実施し、湿原や釧路の自然の大切さを体験します	58
	(NPO) トラストサルン釧路	ナショナルトラスト地の環境保全作業にボランティアの方と共に取り組み、湿原やトラスト地の観察会を行います。	59
	(公財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タ ンチョウサンクチュアリ	施設来訪者へのタンチョウの解説をします	60
		学生ボランティアネットワーク組織「F.A. ネットワーク」主催のワークキャンプの受け入れをします	61
		タンチョウティーチャーズガイド (TTG) 講習会を開催します	62
		ボランティア・ツアー「グリーンホリデーin 釧路～タンチョウの食事場所を整えよう～」を開催します	63
		タンチョウの冬期採食地を守ろう	64
	ボーイスカウト釧路第6団 カブ隊	自然観察や自然体験の実施	65
	喜多島 麻鈴	コンサートを通じて、釧路湿原をPRしていきます	66
	さとぼん	ホームページによる釧路湿原の魅力や歩き方に関する情報を発信します	67
	釧路ボタニカルアートの会	釧路湿原の植物を描きます	68
	アトリエ「アリス」	釧路湿原などの自然を含む釧路地域の素晴らしさを描くことによってアピールする	69
		釧路に自生する植物を使ったアート作品の製作と発表	70
		釧路川周辺の清掃活動を実施します	71
	(NPO)環境把握推進ネットワーク～PEG	釧路湿原に生息する希少動植物や外来動植物に関する、学習会や講演会の実施	72
★	小荷田 行男	釧路湿原とその周辺域の植物生態・自然史・鳥類生態の調査研究	73
★	木幡 弥乃莉	「ワンダグリンダ☆ニュース」作成のお手伝いをします（イラストの提供）	74
52 団体・個人／74 取組み			
	釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生協議会や各委員会の情報を発信します（会議公開、HP、ニュースレター発行）	1
		学習会や講演会などを行います	2
		市民参加の見学会を実施します	3
		パネル展などを実施します	4
		視察・研修などを受入れます	5
		自然再生に関わる資料を発刊します	6
53 団体・個人／80 取組み（協議会含む）			

ワダグリンド・プロジェクト 2013 報告書作成概要

■報告書作成のねらい

- 釧路湿原自然再生普及行動計画（以下、「再生普及行動計画」と略）の 2013 年度具体的取組みの状況を記録する。
- 再生普及行動計画の活動状況を、圏域内外に広く発信し、釧路湿原の保全・再生に向けた多様な活動や参加の機会を多くの人に知ってもらう。
- 新たな取り組みを呼びかけ、誘発していくための材料とする。

■作成方針

- 再生普及行動計画や具体的取組みが何であるのか解かり易く説明する。
- 具体的取組みの実施者作成の報告書を基本とし、個々の取組みを統一した書式で編集する。
- 関係者のみならず、様々な立場の人に手にとって頂けるよう、デザイン・装丁等に配慮する。
- 印刷物としての配布だけではなく、再生普及行動計画WG通信などのウェブサイトでも公開する。

■使用

- 装丁：A 4 版、カラー表紙、本文モノクロ印刷、約 100 ページ
- 印刷部数：1200 部
- 発行者：釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会
- 発行日：2014 年 6 月

■配布に関して

- 釧路湿原自然再生協議会構成員・事務局機関
- 公共施設、期間／釧路管内教育機関（小・中・高・大・専・養護）
- WG事務局より随時配布（郵送希望者は、切手つき返信用封筒を事務局宛に郵送→配布）
- くしろエコ・フェア 2014 等各イベント
- WG構成メンバーの活動の中で配布（機会や部数等を事務局にご連絡下さい）
- この他、「再生普及行動計画ワーキンググループ通信」WEBサイトで公開する。

■構成・目次

はじめに

○発行者代表（再生普及小委員会委員長）名で挨拶文を記載

1 ワンダグリンダ・プロジェクトとは

○釧路湿原自然再生事業の趣旨、協議会、進行管理の仕組み等の概略を記述

○再生普及行動計画作成の趣旨、経緯、進行管理の仕組み等の概略を記述

○再生普及行動計画の3つの柱をパンフレット記載レベルで記述

2 2013年度具体的取組み（ワンダグリンダ・プロジェクト2013）の経緯

○募集からとりまとめの経緯を記述

3 2013年度具体的取組み（ワンダグリンダ・プロジェクト2013）取組み一覧

4 2013年度具体的取組み（ワンダグリンダ・プロジェクト2013）報告

5 「自然再生に参加しよう！」取組み報告

参考

○釧路湿原自然再生事業の趣旨、協議会、進行管理の仕組み等の概略を記述

○協議会の構成と再生普及小委員会名簿、再生普及行動計画WG名簿を記載

○ワンダグリンダ・プロジェクト推進サポーターの掲載

○ワンダグリンダ・プロジェクトの活動の様子を掲載

「ワンダグリンド・プロジェクト 2014」活動予定

■「ワンダグリンド・プロジェクト 2014」募集

2月10日～3月10日を集中期間として募集チラシを作成し各施設に配布、また新聞等で広報し「ワンダグリンド・プロジェクト 2014」の参加者を募った。

○総数

57 団体（個人） 79 取組（協議会含む）

○新規

- ・橘 治国様：釧路湿原の水環境保全
- ・釧路走ろう会様：釧路湿原内で開催される大会や練習会に参加して楽しく走る事で釧路湿原の魅力をたくさんの人達に伝える
- ・竹中康進様：「羽幌みんなでつくる自然空間協議会」によるビオトープづくりの取り組み紹介
- ・ミュージックサロン・タジマ様：カラオケの発表会を通して湿原のPRや募金活動を行う
- ・イオン釧路昭和店チアーズクラブ：地域と自然環境について学ぶ

※今WG終了後「ワンダグリンド・プロジェクト 2014」として公開を予定している。

（資料 3-1 参照）

■「ワンダグリンド・プロジェクト 2014」参加者への活動支援予定

- ・ワンダグリンド・プロジェクト 2014 登録証の発行
- ・ワンダグリンド・プロジェクトロゴマークの配布
- ・ワンダグリンド・プロジェクト普及シールの配布
- ・ワンダグリンド・プロジェクト参加団体間交流の場の提供
- ・メールニュースで活動発信
- ・FMくしろ出演案内
- ・ホームページでの取組み紹介
- ・パネル展等での展示、資料配布での紹介
- ・活動PRの場の提供
- ・自然再生と市民をつなげる場の提供（自然再生参加イベント）
- ・学習、交流の場としてフィールドワークショップの開催（2回）
- ・特典カヌーツアーのご招待
- ・報告書の作成、配布

「ワンダグリンダ・プロジェクト2014」 応募状況 (一覧)

N O	氏名・団体名	取組み概要	取組み時期・回数
1	愛国幸恵町内会	釧路湿原や町内会周辺の身近な自然の写真を町内会にて回覧します	通年
2	アトリエ「アリス」	釧路湿原などの自然を含む釧路地域の素晴らしさを描くことよってアピールする	
3	アトリエ「アリス」	釧路に自生する植物を使ったアート作品の制作と発表	
4	アトリエ「アリス」	釧路川周辺の清掃活動を実施します	
5	イオン釧路店チアーズクラブ	環境学習	毎月1回を基本に年間10回程度
6	イオン釧路昭和店チアーズクラブ	地域と自然環境について学んでいます	毎月1~2回程度
7	伊勢 志郎	釧路湿原国立公園内の施設に来園記念の折鶴を提供しています。また、たんちよう釧路空港や丹頂鶴関連の施設にも提供しています。	通年
8	一般財団法人釧路市民文化振興財団 (釧路市生涯学習センター)	～いきいき女性講座～ 温根内のミズゴケ湿原の散策と鶴居村ふるさと情報館の見学 (湿原に触れ、湿原について学ぶ)	5月～10月全13回の中で実施
9	一般財団法人釧路市民文化振興財団 (釧路市生涯学習センター)	～まなぼとシニア講座～ 釧路湿原(温根内木道)散策と湿原美術館の鑑賞 (湿原に触れ、湿原について学ぶ)	5月～12月全16回の中で実施
10	一般財団法人釧路市民文化振興財団 (釧路市生涯学習センター)	～ふるさと講座～ 湿原ホテル講座 釧路湿原の夜の隠れた風物詩を探ろう (温根内木道にてホテル観察)	5月～12月全17回の中で実施
11	一般財団法人釧路市民文化振興財団 (釧路市生涯学習センター)	～まなぼとわくわく体験隊～ 森とあそぼう2014(達古武で自然再生を考える調査体験)	5月～1月全13回の中で実施
12	一般財団法人釧路市民文化振興財団 (釧路市生涯学習センター)	～釧路学教養講座～ 釧路湿原を訪ねて キラコタン岬と自然再生地 (湿原に触れ、湿原について学ぶ)	5月～12月全15回の中で実施
13	(株)FMくしろ	放送を通じて、湿原にまつわる四季折々の情報を発信します	毎週金曜日11:10～放送
14	お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」を販売します	通年
15	カヌープロ	カヌーを通じ自然の素晴らしさや釧路湿原の大切さを伝えます	5月1日～10月31日
16	川口 秀人	湿原の様子を写真に収め、カレンダーにして掲示します	毎月
17	環境コンサルタント株式会社	達古武湖をカヌー清掃します	8～9月に1回
18	環境省釧路自然環境事務所	自然再生事業を行っている達古武湖にて、市民体験調査会を行います	年2回会
19	(NPO)環境把握推進ネットワーク～PEG	釧路湿原に生息する希少動物や外来動植物に関する、学習会や講演会の実施	2～3回
20	喜多島 麻鈴	コンサートを通じて湿原をPRします	
21	釧路国際ウェットランドセンター	ホームページ、ニュースレター等による釧路湿原の情報発信(日本語・英語)	ホームページ:随時更新 ニュースレター:3月に1回発行。その他湿地関連イベント等で配布
22	釧路国際ウェットランドセンター	湿地・生物多様性に係わる途上国の行政官等を対象とした湿地保全やワイズユースに関する研修を実施(JICAより委託)	湿地保全に関する研修:5月～7月、エコツーリズムに関する研修:8月～9月
23	釧路国際ウェットランドセンター	釧路川蛇行復元現場周辺の環境調査を地域の人々と一緒に行います	初夏と秋に各1回
24	釧路自然解説員	「自然再生解説員」により釧路湿原や自然再生事業の取り組みを細岡展望台を訪れる観光客を対象にわかりやすく解説します	5月、7月、9月に実施予定
25	釧路湿原 MTB クラブ	釧路湿原周辺の林道ツーリングを行う	月2回
26	釧路湿原川レンジャー	釧路湿原や釧路川の観察活動および環境学習を通じて良好な河川環境の維持に務めます	6月、8月、9月、1月の計4回実施予定
27	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	クリーンウォークの実施	4月～11月 5回
28	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	ウチダザリガニ駆除調査	6月～10月 5回
29	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	温根内木道定解説	7月～9月 3回
30	釧路湿原国立公園連絡協議会	釧路湿原に関する情報を自然情報誌、ガイドマップ、ホームページなどで提供します	未定
31	釧路湿原国立公園連絡協議会	温根内ビジターセンターと塘路湖エコミュージアムセンターで自然ふれあい行事を実施します。また来訪者に自然解説や情報提供を行います	未定
32	釧路湿原国立公園連絡協議会	釧路湿原子どもレンジャー活動を実施します	未定
33	釧路湿原国立公園連絡協議会	釧路湿原国立公園クリーンデーを実施します	未定
34	釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生協議会や各委員会の情報を発信します(会議公開、HP、ニュースレター発行)	
35	釧路湿原自然再生協議会	学習会や講演会などを行います	
36	釧路湿原自然再生協議会	市民参加の見学会を実施します	
37	釧路湿原自然再生協議会	パネル展などを実施します	

38	釧路湿原自然再生協議会	視察・研修などを受入れます	
39	釧路湿原自然再生協議会	自然再生に関する資料を発刊します	
40	釧路湿原全国車いすマラソン大会実行委員会	釧路湿原全国車いすマラソン大会を開催します	年1回
41	釧路湿原マラソン実行委員会	釧路湿原マラソンを通じて湿原の美しさを道内外から参加される方々に伝える事	7月27日(日)開催
42	釧路シャケの会	シャケの稚魚の里親募集と放流式を実施します	
43	釧路短期大学	湿原をとりまく地域食材を使用した学生考案の「咲くサクッキー」を釧路全日空ホテルと連携して販売し湿原自然再生に還元します	通年
44	釧路駐屯地曹友会	①細岡展望台整備ボランティアの実施、カヌー教室の実施	年1回 7月上旬
45	釧路走ろう会	釧路湿原内などで開催される大会や練習会に参加し楽しく走っています	通年
46	釧路ボタニカルアートの会	釧路湿原の植物を描きます	
47	(株)釧路マーシュ&リバー	釧路川でのカヌーツーリングや湿原散策をガイドしながら釧路湿原の魅力为全国、全世界の皆さんへ発信して行きます	通年
48	(NPO)釧路湿原やちの会	湿原道路の清掃を予定	5月17日(土)
49	こどもエコクラブくしろ	釧路湿原における特定外来生物の調査・防除活動	6月～10月/5回
50	小荷田 行男	釧路湿原とその周辺域の植物生態・自然史・鳥類生態の調査研究	年2回
51	木幡 弥乃莉	ワンダグリンダ☆ニュースのイラスト提供等	月2回程度
52	さとぼん	ホームページによる釧路湿原の魅力や歩き方に関する情報発信	月に1回程度
53	さとぼん	旅を通して自然の美しさや大切さを自然に感じられるような釧路湿原の情報発信	こまめにツイッター更新
54	沢田建設株式会社	釧路湿原近郊の清掃活動(ごみ拾い)をします	6月～7月に1回、10月～11月に1回
55	品田 忠	木の枝の作品作りや展示、木工教室を通じ湿原からの水の大切さを伝えます	
56	市立釧路図書館 指定管理者 株式会社 図書館流通センター	釧路湿原に関する情報提供及び、関連講座や展示を通じた湿原の紹介をします	不定期年1回程度
57	シルバーシティときわ台ヒルズ	釧路湿原を学ぶ自然文化講座を実施します	年1回
58	太平洋総合コンサルタント株式会社	標茶高校における体験型の環境教育の実施(野外での水質調査、生物調査を通して身近な環境を楽しみながら学ぶ)	9月～11月の中で2～4回程度
59	タクツバ(ペンネーム)	道東の自然や地名をアイヌ語で紹介します	通年
60	竹中 康進	「羽幌みんなでつくる自然空間協議会」によるピオトーブづくりの取り組みを紹介します	随時
61	橋 治国	釧路湿原の水環境保全	夏期～秋期に1～2回
62	タンチョウコミュニティ	タンチョウのえさづくりプロジェクト	5月下旬:種まき 9月下旬:コーン収穫 1月:コーンほぐし 他
63	(NPO)タンチョウ保護研究グループ	タンチョウの保護に関する教育普及活動を行います	
64	辻野 正	ペーパークラフトで釧路湿原などの生き物を紹介します	随時 年間10回以上
65	(NPO)トラストサルン釧路	ナショナルトラスト地の環境保全作業にボランティアの方と共に取り組み、湿原やトラスト地の観察会を行います	
66	(株)日専連釧路	「日専連釧路フィッシャーメンズカード」利用額の一部を釧路湿原国立公園連絡協議会に寄付します	通年
67	西村 孝広	釣りの自警活動の一環として釣り場周辺の清掃活動を行います	通年
68	西村 孝広	オオハンゴンソウの駆除活動を行います	6、7月頃
69	(公財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサクチュアリ	タンチョウ・ネイチャーズガイド(TTG)講習会の開催	
70	(公財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサクチュアリ	タンチョウの冬季自然採食地を守ろう	
71	ハートンツリー	ハーブを使った石鹸、化粧水、クリーム作り講習会、ガーデニング講習会を実施します	通年
72	ボーイスカウト釧路第6団カブ隊	自然観察や自然体験を実施します	通年
73	北海道阿寒高等学校	「地域巡検」を実施し、湿原や釧路の自然の大切さを体験させています	9月中旬から10月上旬に1回
74	(NPO)北海道フィッシャーズ協会	釣りをとおして釧路川・湿原を知っていただく活動	4月中旬から5月初旬、9月中旬から12月初旬
75	ミュージックサロン・タジマ	カラオケ発表会を通して湿原のPRや募金活動を行う	通年
76	酪農学園大学 環境地球科学研究室	釧路湿原における物質循環についての研究	5月～11月まで月1回の観測
77	林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター	シラルトロ湖上流の立枯れ被害にあった森林で市民参加型の自然再生事業を行います	年5回
78	林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター	自然再生事業地の広葉樹の種子から育成した苗木を3年程度預かって育てて頂いています	通年
79	リンク・リング	野生生物へのエサやりの是非を配布するカードを通して考えてもらい、人と動物・自然のかかわりについて考える機会を持ってもらう	通年

2014 年度再生普及行動計画WGの活動予定（案）

1 WGの開催と鼓動計画の進行管理、活動支援

行動計画の進行管理、参加者の活動支援、活性化に向けた取組みを行う。

- 行動計画WGの開催：2回程度開催（次回は11月頃の予定）
- ワンダグリンダ・プロジェクト2013活動報告書作成
- ワンダグリンダ・プロジェクト2014の進捗把握、活動支援
- ワンダグリンダ・プロジェクト2014参加登録書及びサポーター登録証の発行
- ワンダグリンダ・プロジェクト関係者に普及シールの配布
- ワンダグリンダ参加団体間の交流の促進
- フィールドワークショップの開催（2回実施予定）
- ワンダグリンダ特権カヌーツアーの実施

2 情報発信・普及活動の拡充

2-1 情報発信・普及活動

第2期行動計画の重点分野「釧路湿原を知る・楽しむ・学ぶ」を広げて行くため、多様な活動を発信していく。

- メールニュースの配信、掲示
- 市町村広報誌への情報提供、記事掲載
- FMくしろ「ゆうゆう湿原塾」への出演
- イベントへの出展、パネル展の開催等
- メディアへの発信、参加の働きかけ
- 「自然再生ブログ」で自然再生事業の動きを伝える

3 自然再生の参加の機会づくり

第2期行動計画の重点分野「自然再生に参加する・行動する」の機会を創設する。

- 「釧路湿原の自然再生に参加しよう！」イベントの実施
- 他小委との連携による、実施計画ごとの市民参加の機会づくり
- 市民活動（ワンダグリンダ）による自然再生への取り組みを促進させる
- 自然再生事業の地元向け見学会

※各担当小委員会が実施し、普及小委員会はサポートとして協力する

第 2 期再生普及行動計画の実施状況について

2014 年 4 月 23 日
再生普及行動計画オフィス

1. 経緯と趣旨

第 2 期釧路湿原自然再生普及行動計画（以下、「第 2 期行動計画」）は、次の 3 つの重点分野を掲げている。

- ① 釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ
- ② 自然再生に参加する、行動する
- ③ 地域と関わり、人をつなぐ

①については、第 1 期行動計画で相当の成果が出ており、引き続き広げていくことが目指された。②については、第 1 期行動計画では必ずしも十分に進展していなかったが、行動計画策定の趣旨を踏まえ、第 2 期行動計画では特にこの分野に重点的に取り組んでいくこととされた。③については、さらに大きな目標であり、機を見て着手していくこととされた。

このような方針の下に 2010 年度に開始された第 2 期行動計画は、今年度（2014 年度）終期を迎えるため、計画期間全体の成果と課題の整理をしたうえで、次の中期的な行動計画を検討することとする。

なお、これまで行動計画で扱ってきた、自然再生の地域への普及、環境教育や市民参加に関する今後の促進方策等については、今年度実施される釧路湿原自然再生全体構想（以下、「全体構想」）の見直し作業と相互に連動させる必要があるため、全体構想見直しワーキンググループにおける議論を踏まえ、資料 5-2 のように進めることとする。

今回は、ワンダグリンド・プロジェクト及び行動計画 WG 事務局の取組について、5 年間の活動状況を次のとおり整理した。

2. ワンダグリンド・プロジェクトの状況

第 2 期行動計画は、第 1 期行動計画から引き続き、各年度の具体的な取組を「ワンダグリンド・プロジェクト」として集約してきた。第 1 期と第 2 期では行動計画の内容や分類が異なるため、厳密には連続性を前提とする評価はできないが、以下は大まかなトレンドを捉えるために通算して集計した。

(1) 各年度の登録数の推移

ワンダグリンド・プロジェクトの登録者数は、10年間とおしてゆるやかに増えてきており、登録取組数については横ばい～漸増傾向にある。毎年度の新規登録数は概ね4～5件程度で推移しており、継続して参加する団体・個人が多いことから、参加の仕組みとして一定の定着を得ているものと考えられる。

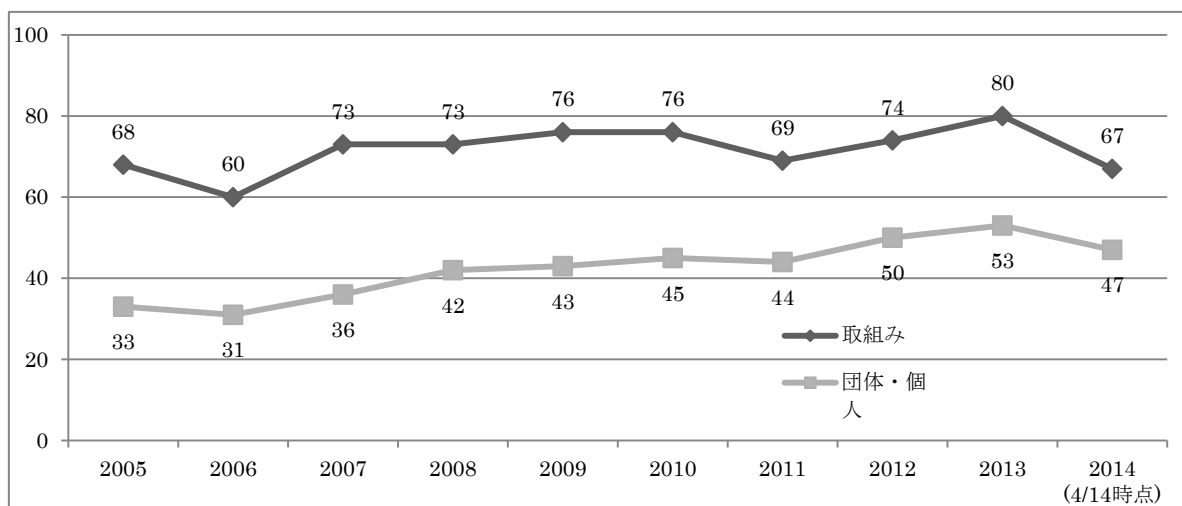


図1 各年度のワンダグリンド・プロジェクト登録数の推移

(2) ワンダグリンド・プロジェクト登録者の活動目的（自己認識）

ワンダグリンド・プロジェクトは、登録時に行動計画のどの分野を目的とする事業かを選択して応募する仕組みとなっている。そこで、過去の登録事業の活動目的を応募者の申請に基づき、第2期行動計画の3つの重点分野に振り分けて集計した。各年度の取組の分野別登録数、分野別割合は図2及び図3のとおりである。なお、集計にあたり、第1期行動計画と第2期行動計画の重点分野を表1のとおり対応させた。

表1 第1期行動計画と第2期行動計画の重点分野の対応関係

第1期行動計画の分類	第2期行動計画の分類
1. みんなの湿原への関心を高める 2. 湿原と人との関わりの歴史と今を知る 7. 湿原と継続的に関わる学びの機会をつくる	① 釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ
3. 自然再生のしくみや動きを広める 4. 自然再生について情報公開と合意形成を進める 5. 自然再生に地域・市民の参加を促す 6. 自然再生への幅広い支援・協力を求める	② 自然再生に参加する・行動する
8. 国立公園の新しい利用形態を創り出す 9. 湿原を訪れる人へのサービスを改善する 10. 人・施設・地域のネットワークをつくる	③ 地域と関わり、人をつなぐ

各年度の取組総数に占める「自然再生に参加する、行動する」に該当する取組の割合は、第1期行動計画の32～41%から第2期計画では20～25%に減少している。また、「地域と関わり人をつなぐ」は、第1期よりも割合が高くなっているが、第2期の期中では目立った増加は見られない。これらについては、何れも表1のとおり第1期行動計画の選択肢を第2期行動計画の選択肢に読み替えているため、厳密な比較は困難である。

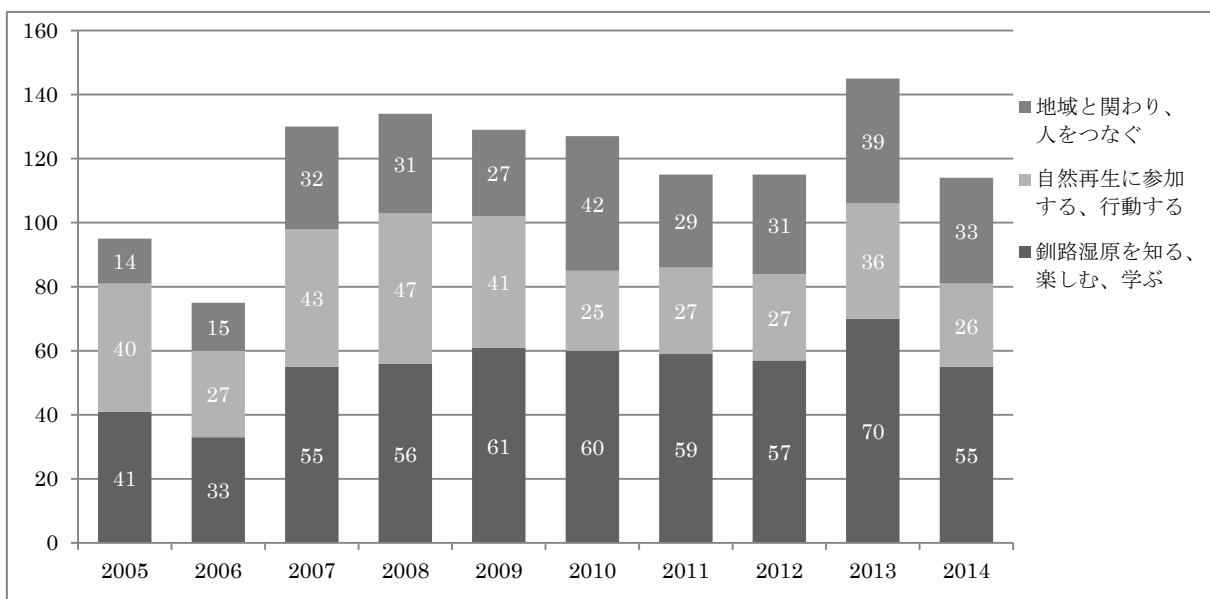


図2 ワンダグリンド・プロジェクトの活動目的別取組数（応募者の選択から）

※ 複数回答を累計したため、報告書掲載の取組み数よりも大きな数値となっている。

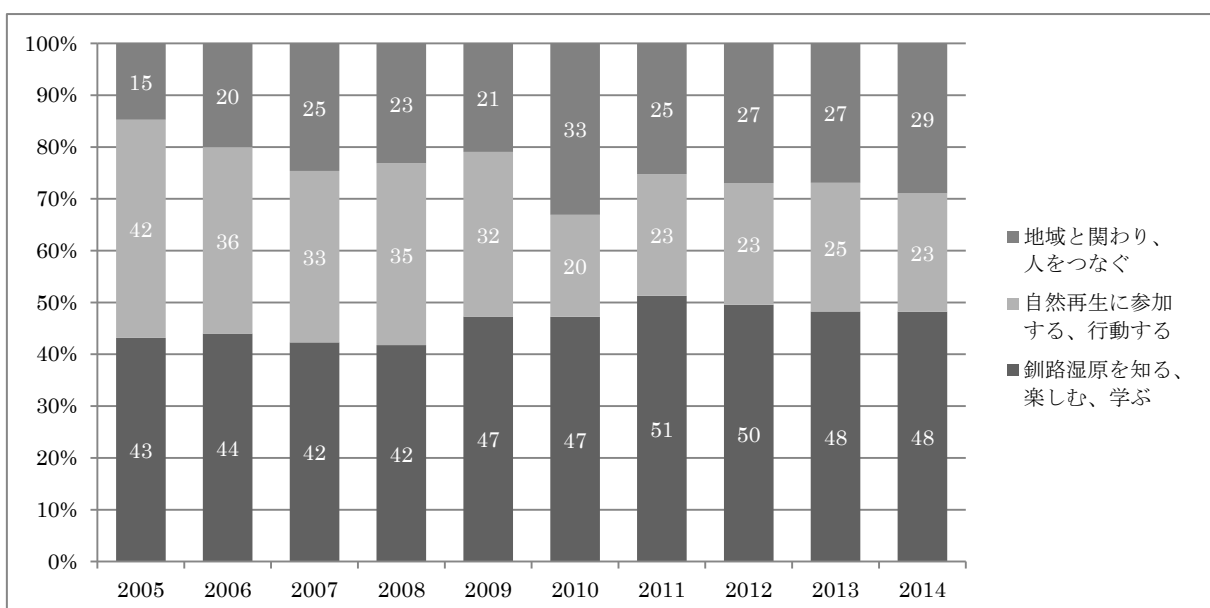


図3 ワンダグリンド・プロジェクトの活動目的別構成割合 (%)

(3) 活動内容

(2) は自己申告であるために分野選択の基準が応募者により異なる。そこで、応募者の選択にかかわらず、事業内容により行動計画の重点 3 分野のどれに最も当てはまるかを検討し、分類を行った。なお、複数の目的を持つ事業もあるが、今回は目的として最も重視していると考えられる項目に着目して単一の目的に振り分けた。

具体的には、第 2 期行動計画のそれぞれについて、まず、人々と湿原の接点の拡大や幅を広げる活動等を「①釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ」に分類した。次に、湿原について気づきや知識を得た人たちが、一歩進めて様々な活動に参加し、行動する取り組み（例えば、自然再生事業地での調査や観察会、外来種調査、湿原周辺での清掃活動、植林、タンチョウの餌場づくりへの参加など、直接的に自然再生に貢献する活動、）及び、自然再生の普及や推進を明確に目的とする環境学習や講演会、寄付活動等を「②自然再生に参加する、行動する」に分類した。さらに、自然再生に関わる地域や人とのつながりづくりや、そのための持続的な仕組みづくりに関わる活動等を「③地域と関わり、人をつなぐ」に分類した。結果は、図 4 及び図 5 のとおりである。

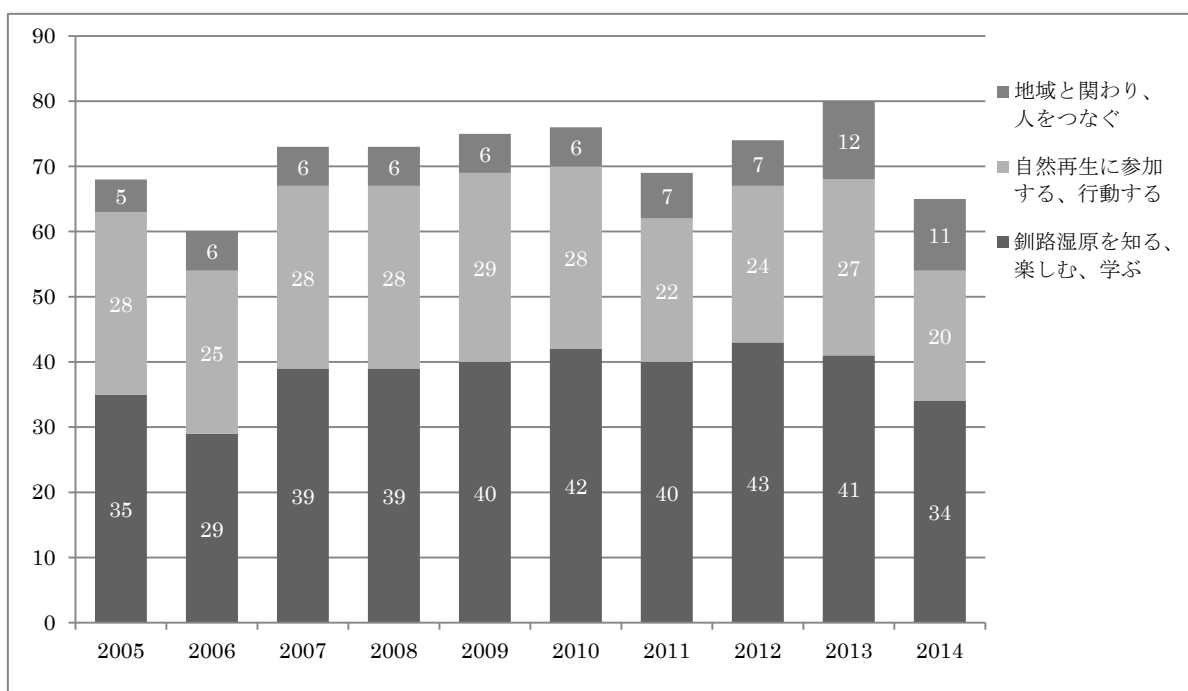


図 4 ワンダグリンド・プロジェクトの活動内容別取組数（事務局による分析）

図 5 で、各年度の取組数に占める「自然再生に参加する、行動する」に該当する取組の割合は第 2 期計画では若干減少しているが、図 4 のとおり取組数に増減はあるものの、一方的な減少傾向にあるわけではない。また、「地域と関わり人をつなぐ」の取組は第 2 期行動計画に入って増加傾向にある。

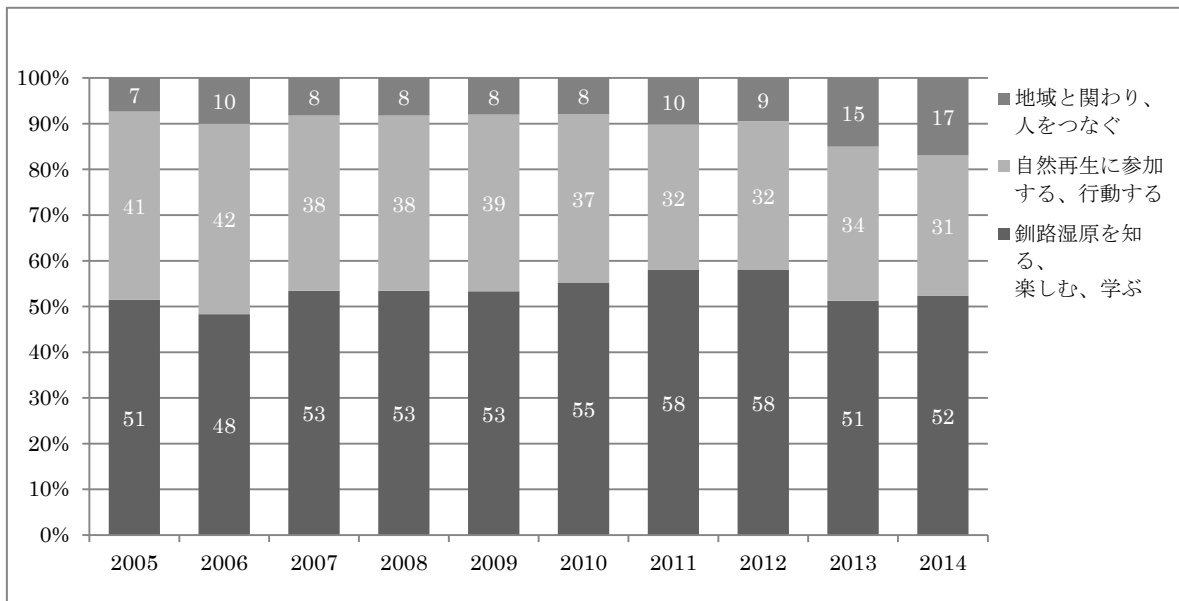


図5 ワンダグリнда・プロジェクトの活動内容別構成割合 (%)

3. 事務局の活動

行動計画ワーキンググループ事務局は、同ワーキンググループの運営、ワンダグリнда・プロジェクト登録活動の支援に加えて、行動計画の目的達成のためにさまざまな活動を展開してきた。具体的には、ワーキンググループの開催等を通じた行動計画の進行政管理、各年度のワンダグリнда・プロジェクトを核とする活動支援・交流の推進、電子メディア中心とする釧路湿原に関わる活動の情報発信、自然再生事業の解説、自然再生を紹介するパネルや航空写真等の出展活動、参加・行動する人たちの新たな体験と交流を目的とするフィールドワークショップの開催等を第1期行動計画に引き続き実施してきている。

これらに加えて、第2期行動計画では「②自然再生に参加する、行動する」が最重点分野とされたことを踏まえ、新たに自然再生を一般向けに平易に解説し伝える広報、自然再生実施地の地元住民向け現場見学会、ワンダグリнда登録団体による自然再生への参加機会づくりのコーディネートや強化月間における集中広報等を重点的に実施してきた。

また、再生普及小委員会での議論を踏まえ、「③地域と関わり、人をつなぐ」の具体化に向けて、鶴居村をモデルとする地域産業と自然再生の連携について地元関係者へのヒアリング等を重ねて検討し、協議会、鶴居村、鶴居村観光協会の協働の下に「鶴居村釧路湿原流域ガイドマップ」を制作した。(2013年度末に完成)

なお、行動計画ワーキンググループ事務局は、ワーキンググループの事務にとどまらず、行動計画の趣旨を踏まえた多様な活動を担う主体であることを対外的に明確にする

ために、2012年度に通称を「再生普及行動計画オフィス」（以下、「オフィス」）に改めた。

オフィスによる主な取組分野は表2のとおりである。

表2 事務局の取組分野の推移

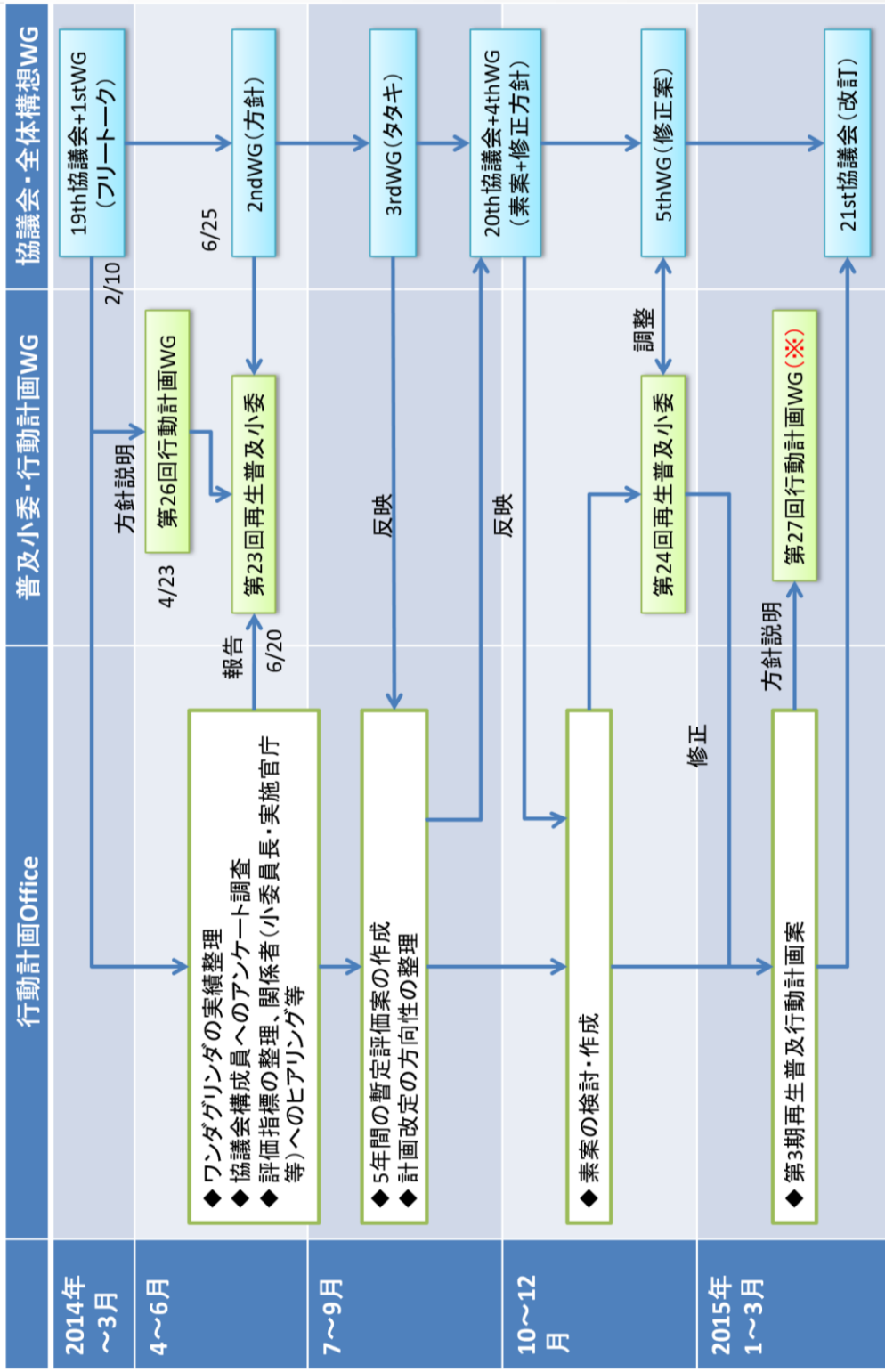
（○：実施・継続、◎：実施に加えて新たに作成・拡充等を行ったもの）

	第1期再生普及行動計画					第2期再生普及行動計画				
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014(予定)
行動計画作成	◎				◎			中間評価		◎
〃 進捗把握・活動支援		○	○	○	○	○	○	○	○	○
〃 普及版作成	◎	○	○			◎	○		○	
〃 〃 英語版作成	◎	○	○				◎			
ワーキンググループ開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ワンダグリンド募集・広報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ワンダグリンド報告書発行		○	○	○	○	○	○	○	○	○
ワンダグリンド交流会		○	○					○	○	
ワンダグリンドサポーター				○	○	○	○	○	○	○
ワンダグリンド登録証発行							○	○	○	○
パネル作成・出展等		◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	○
航空写真の出展・貸出							◎	○	○	○
WEBサイトの運営	○	◎	○	◎	○	○	○	◎	○	○
ニュースレター発行		○	○	○	○	○	○	○	○	○
メディア広報・働きかけ							○	○	○	○
知名度アンケート		○	○	○	○	○	○	○	○	
フィールドワークショップ				○	○	○	○	○	○	○
「自然再生の今」の広報						◎	○	◎	○	○
地元向け現場見学会							○	○	○	※支援
自然再生参加機会拡充								○	○	○
地域産業との連携検討							○	○		○
鶴居ガイドマップ制作								○	◎	

※ 学校教育に関わる取組については、2007年度に再生普及小委員会の下に設置された「環境教育ワーキンググループ」が実施している。

行動計画改定手順(案)

※ 2014.6.20 第23回普及小資料|に加筆



※ 全体構想及び行動計画の見直し内容次第で、WG構成や役割等が変わる可能性がある。

2014年4月22日

釧路湿原自然再生協議会
構成員・関係機関 各位

釧路湿原自然再生協議会
再生普及小委員会事務局
(環境省釧路自然環境事務所)

釧路湿原自然再生全体構想及び再生普及行動計画見直しのための
アンケート調査について(依頼)

釧路湿原の保全・再生にあたり、日頃よりご理解、ご協力をたまわりお礼申し上げます。
すでにご案内のとおり、釧路湿原自然再生協議会(以下、「協議会」)では、今年度、釧路湿原自然再生全体構想(以下、「全体構想」)の見直し及び釧路湿原自然再生普及行動計画(以下、「行動計画」)の改訂を予定しております。これに先立ち、協議会再生普及小委員会事務局では、現在の全体構想の該当部分及び行動計画の成果や課題等の把握を目的とするアンケート調査を実施することとなりました。
ご多用のところ誠に恐縮ですが、本調査へのご回答につきまして、特段のご協力をお願い申し上げます。

記

1. 調査実施者

この調査は、協議会再生普及小委員会事務局の依頼を受けて、公益財団法人北海道環境財団が実施します。

2. 回答方法

添付の調査票に回答をご記入いただき、同封の返信用封筒(切手は不要です)により下記宛てにご返送ください。(郵送等によりご案内差し上げた方で電子メールによる回答をご希望の方は、電子メールにより下記連絡先まで Word ファイルをご請求ください。)

3. 回答〆切り

2014年5月18日(日) ※ 郵送の場合は必着をお願いいたします。

4. 調査結果の取扱

いただいたご回答は集計のうえ、協議会の各種会合で公開します。自由記述欄へのご記入内容についても趣旨等を公開する場合があります。(回答者名は公開しません)

<アンケート回答送付先(本件問合せ先)>

公益財団法人北海道環境財団 担当: 寒河江・久保田
〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目1番地伊藤加藤ビル4階
E-mail kushiro2014@heco-spc.or.jp TEL 011-218-7811(平日10:00~18:00) FAX011-218-7812

調査票

○ 本調査票では、以下のとおり略称を用いています。

「全体構想」＝「釧路湿原自然再生全体構想」(2005年3月、釧路湿原自然再生協議会)

※全編は http://www.ks.hkd.mlit.go.jp/kasen/kushiro_wetland/pdf/conception.pdf 参照

「協議会」＝「釧路湿原自然再生協議会」

「再生普及行動計画」＝「第2期釧路湿原自然再生普及行動計画」(2010年1月、協議会)

http://heco-spc.or.jp/kushiro/wp/wp-content/uploads/2010-1-kushirosaisei_all.pdf

※ 本調査票を郵送でお届けする方には、全体構想関連部分及び再生普及行動計画を添付します。

■質問1 全体構想の施策の柱の一つに「持続的な利用と環境教育の促進」(全体構想p32～35)があり、次の5つの目標が立てられています。それぞれの達成度について、あなたの考えに最も近い選択肢をひとつだけ選んで○で囲み、成果・課題と感ずることをキーワード等で簡潔に記入してください。

■Q1-1 環境教育の充実とネットワーク化

1)十分に進んだ 2)ある程度進んだ 3)あまり進んでいない 4)わからない

あなたが注目する成果	
あなたが感じる課題	

■Q1-2 自然再生事業の情報発信と市民参加の推進

1)十分に進んだ 2)ある程度進んだ 3)あまり進んでいない 4)わからない

あなたが注目する成果	
あなたが感じる課題	

■Q1-3 湿原の利用に関するガイドライン・ルールづくり

1)十分に進んだ 2)ある程度進んだ 3)あまり進んでいない 4)わからない

あなたが注目する成果	
あなたが感じる課題	

■Q1-4 地域産業の持続的発展のあり方の検討

1)十分に進んだ 2)ある程度進んだ 3)あまり進んでいない 4)わからない

あなたが注目する成果	
あなたが感じる課題	

■Q1-5 すぐれた景観の保全

1)十分に進んだ 2)ある程度進んだ 3)あまり進んでいない 4)わからない

あなたが注目する成果	
あなたが感じる課題	

*** 次ページの質問にもお答え下さい ***

■質問2 再生普及行動計画は、次の3つについて、「できる者」が「できること」から取り組むことを前提に進められてきました。これらそれぞれの達成度について、あなたの考えに最も近い選択肢をひとつだけ選んで○で囲み、成果・課題と感じることをキーワード等で簡潔に記入してください。

■Q2-1 釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ(再生普及行動計画 p9 参照)

1)十分に進んだ 2)ある程度進んだ 3)あまり進んでいない 4)わからない

あなたが注目する成果	
あなたが感じる課題	

■Q2-2 自然再生に参加する、行動する(再生普及行動計画 p10 参照)

1)十分に進んだ 2)ある程度進んだ 3)あまり進んでいない 4)わからない

あなたが注目する成果	
あなたが感じる課題	

■Q2-3 地域と関わり、人をつなぐ(再生普及行動計画p11 参照)

1)十分に進んだ 2)ある程度進んだ 3)あまり進んでいない 4)わからない

あなたが注目する成果	
あなたが感じる課題	

■質問3 全体構想および再生普及行動計画の見直しにあたり、期待すること、考慮すべきこと、その他、あなたのご意見をお聞かせください。(以下に自由にご記入ください)

--

ご所属団体・部署名		お名前	
電話番号		E-mail	

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ***